

乃木坂スクール 4月20日 第2回レポート

studio-L 代表・関西学院大学教授
山崎 亮先生

医療福祉ジャーナリズム分野
博士課程卒業生
岩田真弓 看護師

初めて知ったコミュニティデザインの概念
～年の差フレンズ継続中～

初めまして、シドニーで看護師をしている岩田と申します。ゆきゼミの卒業生です。録画を拝聴させて頂きました。先生のトークに引き込まれてのあつという間の時間で、仕事後に拝見した録画でしたが、疲れは吹っ飛び、なんだか力の湧き上がる、私も一緒に活動したいなという気持ちになっていました（笑）。目からうろこ---こうやってコミュニティが作られ、自分たちで運営していくことが、地域貢献にも繋がっていくんだと実感しました。地域に求められることは、その地域で暮らす人たちに聞く、まさにそうですね。そして自分たちに必要な支援を自分たちでデザインしていく、だからこそ、地域みんなが参加したいと思うのですね。

亮先生（ゼミに参加できなかったのでニックネームでどう呼びしたらいいのかわからなかったもので、勝手にこう呼ばせていただきます）のアイデアが斬新すぎて、日本人離れした思考だな〜と思ってプロフィールを拝見したら RMIT に留学されていたことを知り、納得した私です。お話のすべてが素晴らしくて、わかりやすく、私にとっては全く別分野と思いきや、コミュニティ×デザインという視点で考えると医療や介護の世界にもにも繋がっていくことが分かりました。

特に心に残った「年の差フレンズ」---これが素晴らしいと思いました。実際、海外では年齢に関係なく友人関係ができているなあ〜としみじみ思います。私にも 20 歳以上離れたナース友達もいますし、一緒にお茶にも行きます（笑）。若い人とつながることで、自分自身がいつまでも若くいられるんじゃないかと思ったり。。。アクティブシニアを目指そうと思っています（笑）。シニアとジュニアの相互作用で認知症の予防になったり、若者は地域貢献が自然とできていたり、これって本当に自然な形ですよ。あらためて思いました。

乃木坂スクール 4月20日 第2回レポート

亮先生のトークがあまりに楽しかったので、今 YouTube でいろいろと拝見させていただいてます。ゼミに参加したかった～

